

科目名 地域企業マネジメント特論(二) (2単位)

担当者氏名 黒瀧 秀久

◆学習・教育目標

自然資源や生態系を維持しつつ地域の産業や経済を持続的に発展させるべく、長期にわたって自然や資源を利活用する仕組みとマネジメント手法を学び、21世紀型の企業マネジメント論の基礎的理解を深めることを到達目標とする。そこで本講義では、「21世紀型の企業マネジメントのあり方」をテーマに、従来のマネジメント論に加え、今日の企業経営を巡るCSR（企業の社会的責任）や地域企業の技術経営などの動向を踏まえることで、エコ・ビジネスを含めた地域企業経営の課題を追究する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

マネジメント論	企業経営	CSR	コーポレート・ガバナンス
技術経営	地域クラスター	コミュニティ・ビジネス	環境ビジネス

◆授業の進行等について（単位制度に基づく授業の進行予定・内容）

回数	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1-4回	マネジメント論の諸系譜 (担当 黒瀧秀久)	地域の活性化求められる今日においては、地域経済の基盤をなす地元企業の経営が問われることとなる。ここでは、21世紀型の企業マネジメントを理解すべく、まず企業におけるマネジメントの展開とそれにかかわるマネジメント論の諸系譜について分析する。	マネジメント論の諸系譜を学び、企業マネジメントの基礎を理解する。
5-8回	戦略的マネジメントの基礎視角 (担当 黒瀧秀久)	21世紀型の企業マネジメントを理解する上では、まず、戦略的マネジメントの基礎視角を理解することが必要である。そこで、ここでは戦略経営や人材マネジメント、環境マネジメント、戦略的マネジメント、CSR、ステークホルダー、コーポレート・ガバナンスについて分析する中で、戦略的マネジメントの基礎を理解する。	戦略的マネジメントの基礎視角を学ぶ。
9-12回	グリーン・ニューディールと環境ビジネス (担当 黒瀧秀久)	今日、新たな社会経済の動向として、グリーン・ニューディールがあげられる。ここでは、各国グリーン・ニューディールや環境ビジネスの動向を踏まえながら、生態系や自然資源の適切な管理と地域社会の持続的な発展を両立すべく、エコシステムマネジメントと企業経営の両方の視点からマネジメント論の基礎的理解を深める。	エコシステムマネジメントと企業経営の両方の視点からマネジメント論を学ぶ。
13-15回	地域活性化にむけた戦略的マネジメント (担当 黒瀧秀久)	地域企業経営の新たな展開として着目されている技術経営を軸とした地域クラスターの展開を学ぶなかで、組織間ネットワーク戦略やネットワーク・コーディネート組織のあり方について分析する。また、新規起業企業の経営実態と企業活動促進への政策的課題についても分析し、持続的な社会を担う地域企業のあり方を追究する。	持続的な社会を担う地域企業のあり方を明らかにする。

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名/著者/発行所（発行年）

『新しい戦略マネジメント 戦略・組織・組織間関係』/山本健嗣/同文館出版(2007年11月)

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所（発行年）

『グローバルな時代の経営革新』/林正樹・遠山暁編著/中央大学出版部(2003年10月)

◆評価の方法（レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト）

講義への出席(4分の3以上)とレポートにて評価する

◆その他受講上の注意事項
